

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク演習(専門) a		選択	2	2	後期(後半)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
田村 正人	B308	masato.tamura		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目標>学生がソーシャルワーク実践に必要な、専門職業人が業務で遂行する能力(コンピテンシー)を理解し、説明ができるようになることを目的とする。</p> <p><概要>教科書の事例等を使い、グループワークやディスカッションにより、ソーシャルワークの展開過程の基本について理解し、プレゼンテーションを行いコンピテンシーの意義と、学生自らの取組みについて省察できるよう演習を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他()				
学習上の助言	ソーシャルワークの価値・知識・技術を前提とするので、関連する他の科目の教科書等も参考に予習をしてくる。疑問を抱き教員への質問を積極的に行うことが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座「ソーシャルワーク演習(社会専門)」/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	指定参考図書なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉士に求められる価値規範に基づいた倫理的な判断ができる。			HSU(1)(2)、WP(1)(4)(5)	
②	地域を基盤としたソーシャルワークについて説明できる。			HSU(2)(4)(6)、WP(2)(3)(5)	
③	社会福祉士に必要なコンピテンシーについて説明できる			HDU(1)(2)(3)、WP(1)(2)(4)(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション(授業内容と進め方、学習方法、評価等の説明)、専門職コンピテンシーについて省察する	演習 ディスカッション	シラバスを精読する。 教科書第1章を精読する。	4	
2	ケースの発見とエンゲージメント(インテーク)を学習する 1 利用者の気持ちを推考する	演習 ディスカッション	教科書第2章1、2節を精読する。	4	
3	ケースの発見とエンゲージメント(インテーク)を学習する 2 インテークの準備をする	演習 グループワーク	教科書第2章1、2節を精読する。	4	
4	ケースの発見とエンゲージメント(インテーク)を学習する 3 クライアント像を情報として整理する(フェイスシート作成)	演習 グループワーク	教科書第2章1、2節を精読する。	4	
5	ケースの発見とエンゲージメント(インテーク)を学習する 4 クライアント像を共有する	演習 ディスカッション	教科書第2章1、2節を精読する。	4	
6	アセスメントを学習する 1 アセスメントシート作成を通じて本人のニーズを把握する	演習 グループワーク	教科書第2章第3節を精読する。	4	
7	アセスメントを学習する 2 本人のニーズを把握に必要な意思決定支援について理解する	演習 ディスカッション	教科書第2章第3節を精読する。	4	
8	プランニングを学習する 1 支援計画を作成する	演習 グループワーク	教科書第2章第4節を精読する。	4	
9	プランニングを学習する 2 支援計画を実施するための多職種連携について理解する	演習 グループワーク	教科書第2章第4節を精読する。	4	
10	支援の実施とモニタリングを学習する 1 支援の結果を評価する	演習 グループワーク	教科書第2章第5節を精読する。	4	
11	支援の実施とモニタリングを学習する 2 新たなニーズから支援計画を見直す	演習 グループワーク	教科書第2章第5節を精読する。	4	
12	支援の終結と結果評価、アフターケアを学習する 1 支援の展開過程を分析する	演習 グループワーク	教科書第2章第6節を精読する。	4	
13	支援の終結と結果評価、アフターケアを学習する 2 アフターケアについて考える	演習 ディスカッション	教科書第2章第6節を精読する。	4	
14	ソーシャルワークの展開過程とコンピテンシーを学習する 1 ソーシャルワークに必要なコンピテンシーを考える	演習 ディスカッション	教科書第2章第7節を精読する。	4	
15	ソーシャルワークの展開過程とコンピテンシーを学習する 2 コアクティビティについて省察する	演習 ディスカッション	教科書第2章第7節を精読する。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	30	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	5	0	0	25
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	10	15
	発表・表現伝達する力	0	5	10	0	5	20
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	5	0	0	5	10
		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	1~7 回目の授業内容、8~15 回目の授業内容について、1000 字のレポート課題を出す。計 2 回のレポートから授業内容の理解度を評価する。レポートは Teams にて提出する。				採点をして Teams にて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	グループワークで取り組んだ成果を発表する。グループでどのように取り組み、効果的な発表ができているかを評価する。				成果発表は学生による評価と教員の評価を勘案して評価する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了後にリアクションペーパーを Teams にて提出する。課題への取組み状況やグループワークへの参加姿勢などを確認し、評価する。				質問については、授業にて共有する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験	社会福祉士として実務経験 10 年						
実践的授業の内容	教科書とシラバスに沿って、ソーシャルワークの基本及び展開過程について、教員が実践してきた事例(個人、団体等の特定ができないよう加工)を用いるなど、具体的に分かりやすく説明をすることで、学生が科目内容について具体的なイメージをもって理解が深まるように工夫をして授業を進める。						
そ の 他	<p>【履修についての条件】</p> <p>*社会福祉士国家試験受験希望者は必ず履修すること。</p> <p>【受講する際の注意事項】</p> <p>・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</p> <p>・今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって、再度シラバスの変更が行われることがある。</p>						